

金魚ちようちんノート開発

木阪賞文堂 祭り20周年を記念し、販売中

B5、A5、A6の3サイズで5色用意

つくれる文具屋さんを標榜する柳井市中央三丁目と白壁通りに店舗を構える(有)木阪賞文堂(木阪泰之社長)は、柳井金魚ちようちん祭り二十周年を記念し、「金魚ちようちんリング・ノート」を独自に開発して制作。七月下旬の発売開始から、好評を博している。

同社は四年前に白壁ポストカードと白壁カレンダーを手掛けたのを機に、山口県を代表する



るまでに成長した地元民芸品「金魚ちようちん」をモチーフにした金魚マグネットやしおり、消しゴムハンコの板、ピンバッジ、エコバッグ、Tシャツなどの文具・雑貨を毎年三〜五アイテム程度、新規に開発・制作している。

今回開発した「金魚ちようちんリング・ノート」は、B5、A5、A6の3サイズ(いずれも六十ページ)。ノートの表紙は、

金魚ちようちんの正面イラストと「YANAI」の文字が描かれ、赤、水色、オレンジ、黄緑、ピンクの五色を用意している。表紙裏には、金魚ちようちんの歴史と由来が印刷され、さらに各ページには金魚の図柄が描かれるなど、柳井独自の可愛らしいノートに仕上がっている。

また、同社では、印刷などは大手メーカーには頼らず、地元業者に依頼。地

全国中学生弓道大会へ出場

田布施中 4選手が町長へ意気込み語る

JOC(公益財団法人日本オリンピック委員会)ジュニアオリンピックカップ「第8回全国中学生弓道大会」に出場を決めた田布施中学校の女子弓道部員四人が三日、町役場を訪れ、長信正治町長に出場報告を行った。

女子弓道部は、七月二十二日に開催された山口県中学校弓道選手権大会団体の部でBチームが優勝。個人の部では、二年生の中野暁子さんが優勝した。

この日、個人戦にも出場する中野暁子さん(二年)は「力の限り頑張りたい」。西本彩さん(二年)

は「応援に励まれるよう、頑張つて結果を出したい」。吉中ちなみさん(三年)は「いつも通り、頑張りたい」。主将の中野志織さん(三年)は「山口県の代表として全国大会へ行くことに、感謝しています。ふだんの練習以上のものは出ないので、全力を尽くしたい」とそれぞれ抱負を語った。

長信町長は「県大会優勝、本当におめでとう。弓道は自分一人で戦うので、自分の力以上はできないかもしれないが、優勝を目指して頑張ってください」と激励した。

全国大会は、八月二十、二十一日の両日、東京・代々木の全日本弓道連盟中央道場や明治神宮武道場至誠館道場などで開催される。田布施中弓道部では、昨年女子個人の部で八位入賞を果たしており、今年も大きな期待が寄せられている。



(写真は長信町長に全国大会への出場報告をした田布施中女子弓道部)

小学生10人が枕作りに挑戦

柳井市南町 丸信寝装 体験教室で眠りの大切さ学ぶ

中国地方では初となる「夏休みちびっこ枕手作り体験教室」が四日、柳井市南町三丁目の寝装専門店「丸信寝装(株)」(黒瀬宏太郎社長)で行われ、十人の小学生が枕づくりを通して眠りの大切さなどについて学んだ。

大手寝具・寝装品メーカーの西川リビング(株)が主宰するボランティア「チエン会(大阪西川チエン会)」に加盟する同社が、快適な睡眠環境を地域に提供する「眠りの大切さ」の啓発活動の一環として、子供自身が自分に合った枕を手作りする体験教室を今回初めて実施した。西川リビングの睡眠環境科学研究所の

監修。体験教室は、午前と午後の二回行われ、応募のあった柳井近郊の小学生二年から五年までの十人が参加。眠りに関する話やO×クイズをして場を和ませた後、枕づくりに挑戦。



子供たちは、壁に背をあて座った状態で頭・首・背中を二方向から測り、壁と体を埋める数値を書き出し、それに従って三つの袋からなる枕(高さ三十七センチ、横幅五十七センチ)の中に、ソフトパイプを入れる作業を行った。その後、その枕を使ってベッドに横たわり、仰向けや横向きになって最終的な高低の微調整を行い、

黒瀬社長は、枕を置く位置や寝方などについて「枕は全体重の8%を支えている。できるだけ仰向けで寝るようにしてほしい」などと同席した保護者にアドバイスするとともに、「予想以上に子供たちが熱心に枕づくりをしていて驚かされた。寝ることは生活する上で最も重要なことで、子供の時から、寝ることの大切さを学ぶことは今後の成長や学習意欲につながることに。これからも眠りの授業を継続して行ってほしい」と話していた。

教室に同席した西川リビング販売二部の瀬川実課長代理は「日本人の四人に一人は睡眠障害と言われ、世界的にも日本の子供たちの睡眠が、一番少ないとのデータが発表されている。近年子供の寝る時間が遅く、起きる時間もまちまちと、ぐっすり寝ていないのが現状。これが不眠うつ、自殺へとつながっている。眠りの大切さを家族全員で考えてほしい」と呼びかけていた。

(写真は黒瀬社長から枕を置く位置や寝方について学ぶ参加親子たち)

と支持され続ける商品だと思ふ。サイズ、仕様、カラーリングなどは、ここ数年の売れ筋コンテントを反映した。我が社が手掛けている金魚ちようちん関連文具の開発が、地元活性化につながることを期待したい」と話していた。

問い合わせ先は、木阪賞文堂中央店(☎0820・22・0150)まで。

(写真は柳井金魚ちようちん祭り二十周年を記念して開発、販売されている「金魚ちようちんリング・ノート」)

炎天下団塊の、のどかなる梅の前屈みに青田、なすがままの會、納と蛭首顔足町はずれフェン牛追いて代掻、窓陰の粗末な、郷愁は失いし、現そみの母在、白き蕾ふんだ、大津波瓦礫に隣家との間に、大輪の百合の、読みあさるつ、戦中の要塞跡、

柳井

県庁職員名乗る 不審電話相次ぐ

柳井署は五日、柳井市内の老女Aさん(76)宅にオレオレ詐欺と認められる不審電話がかかってきたと発表した。

発表によると、同日午前十一時半ごろ、Aさん方に県庁職員を名乗る男から、「後期高齢者保険の戻りで3万8500円

が戻ります。口座はどの金融機関にありますか」と電話がかかり、Aさんが所有する口座の金融機関名を伝えると、男は「確認します」と言いつつ一旦電話を切断了。約三十分後、再度Aさん方に電話がかかったが、この時点で不審に思ったAさんが、「家族に相談する」と告げたと、男は電話を切ったという。

出生死亡

出生) 寺本信幸方、瑞歩(みずほ)西向地、7月24日

死亡) 寺本晃子(66)北中開作、7月30日

宗近満(90)白瀉西下、8月3日

柳井金魚祭りが開幕!!



点灯スイッチを押す有吉さん、藤本さん、宮地さん、井原市長(左から)



開幕イベントは白壁夜市、大勢の人出が来場

20回記念で8日間連続開催

点灯式&白壁夜市に50000人来場

柳井市最大の夏まつり「柳井金魚ちようちん祭り」が六日に開幕した。今年が第二十年記念として、祭り期間を八日間延長し、祭り本番の十三日まで連続して多彩なイベントを繰り広げる。また、祭り会場には、例年より3.5倍となる7000個の金魚ちようちんが装飾され、訪れた市民や観光客を魅しませている。

祭り開幕日の六日夜は、白壁の町並みで電飾用の金魚ちようちん20000個に明かりが灯る「点灯式」があり、今年の祭りポスターアイコンクルで最優秀賞に輝いた宮地涼香さん(14・柳井南中2年)と藤本裕美子さん(10・柳井小4年)、有吉優芽さん(9・神西小3年)の三人と井原健太郎市長が、合図とともにスイッチを押すと、一斉に金魚ちようちんが灯り、幻想的な雰囲気を作り出した。

点灯式前後には、月性剣舞保存会の小学生と大人による剣舞と山城太鼓による勇壮な太鼓の演奏があり、金魚ねぶたも展示されるなど、祭り開幕を盛り上げた。

また、白壁の町並みでは、二十年以上前に行われていた土曜夜市の復活版といえる「柳井夜市」があった。巨大駒を使った路上将棋や金魚すくい、ヨーヨー釣り、スタンブラリ、飲食・ゲームコーナーが通り一帯で繰り広げられ、この日だけで約五千人主催者発表が来場する大好評ぶりだった。

祭り二日目の七日は、市商工会館で「第十七回全国金魚すくい選手権大会」が柳井地区予選大会が行われた。この大会は、祭り関連イベントとして、柳井商工会議所が主催し、日本有数の金魚の産地として知られる奈良県大和郡山口市とのコラボ企画として初めて開催した。

この日は、金魚すくいの達人として、大和郡山市から十六人が来柳。大会に先立ち、達人によるデモンストレーションがあり、三分間で四十三匹すくった四年前の全国チャンピオンらの華麗なポイの腕前が見入った。そして、大会には柳井近郊から、小中学生百七人と一般八十五人の百九十二人が出場。競技は、全国大会ルール規定と同じく、三分間に一枚のポイ(すくい網)で何匹すくえるかを競うもので、出場者は一つの水槽を四人が囲み、真剣な眼差しで競技に挑んでいた。



192人が出場した金魚すくい選手権大会

試合は、部門別に予選、準決勝、決勝で行われ、小中学生の部優勝は、坪井勇樹君(柳井中2年)が、決勝匹数は29匹が、二位は岡崎日紀君(柳井小3年)が、三位は橋本昇子さん(春日部小6年)が同16匹だった。一般の部優勝は、大谷登紀子さん(柳井市柳井)が同29匹、二位は青木泰憲さん(市内山根)が同24匹、三位は大谷北斗さん(市内柳井)が同22匹だった。各部門の優勝、準優勝者には、八月二十一日に

金魚すくい選手権に192人出場



金魚すくいの達人によるデモンストレーション



真剣な表情で金魚すくいに挑戦する子供たち

柳井日日新聞

発行所 柳井市金屋区 436 742-0022
 (株)柳井日日新聞社
 編集発行人 友座 尚
 電話 0820-22-0758
 FAX 0820-22-2775
 購読料 1ヶ月 1,400円 (郵送料100円増)
 振替口座 01550-3-005438
 《火・木・土曜日発行》

月でひろった卵

まあるたまご
 きいろたまご
 ふんわりふわふわ
 かわいたまご
 ふしぎなふしぎな
 たまごのお菓子
 月でひろった
 ふしぎ卵

菓子乃季

柳井市大字柳井5275
 Phone 0820-22-0757

柳井市人口・世帯数 (7月末現在)

- 世帯数 16,072(+4)
- 人口 35,170人
- 男性 16,364人
- 女性 18,806人 (前月比-11人)
- 外国人 137人



西藏で大人気だったカプト虫コーナー